



hida

広 報

ひだ

町 木



第43号

肥 田 町
郷づくり委員会
H19.4.5 発行

ご挨拶

自治会長 藤 野 喜代蔵

春爛漫の季節、皆さまには益々ご清栄の段、お慶び申し上げます。日頃は自治会活動につきまして格別のご協力を賜り誠にありがとうございます。

この度、私、町内では数多くの立派な諸先輩もおられる中、歴史と伝統のある肥田町の自治会長の重責をお預かりいたすこととなりました。もとより到底その器ではなく、浅学無智な私が果たして皆さまのお役に立つことが出来ますか全く自信もございませんが町民の皆様、役員各位のご支援をいただきながら責務を果たせるよう懸命の努力をいたす所存でございますので何とぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本年度は先ず前自治会長森田氏のご尽力により肥田町自治会の法人化がスタートいたしました。これは、今後、時代の移り変わりがあっても常に円滑な自治会の運営が続けられ、社会的な要請にも応えて責任が果たされ、そして町の発展に結び付けたいとの思いそのものである。

また、町民皆さまのご理解ご協力のもと進行中の圃場整備も、お蔭様で第一期工事終了となりました。ご年輩の方々には、

永年にわたり親しんだ田圃の様変わりをご覧になり淋しさもひとしおかと存じますが、時代を先取りした明日の肥田の農業への旅立ちと見つめて頂ければと思います。この度、圃場整備と全く機を一にして四月からは、農水省、及び滋賀県、彦根市の要請による、助成を伴う「農地、水、環境向上推進の農村まるごと活動」が始まります。これは生活環境の整備及び農村施設、農村経営の観点と、まちづくり活動の観点から、無駄な



く効率の高い農村振興を目指すもので町民すべて参加の活動であります。この活動を肥田町自治会では「まちおこし推進協議会」と称して、自治会、改良組合、生産組合、まちづくり委員会が軸となり町民皆さんと一緒に取り組むこととなります。本来の田舎の良さを生かしながら新しい光を当てる事が出来ればと願っています。

また一方では、高齢化の一段と進む町内では、一日中誰とも話さない人も増えて来ています。お互い福祉の愛の一声も忘れてはなりません。いずれの取り組みも、次の世代へ住み良い町、美しい町肥田町を伝えて行くことを頭において当面の取り組みと想っています。

新しい自治会役員一同心を合わせ、町民皆様ともしっかり手を組んで一生懸命に努めて参りますので、皆様の深いご理解と倍旧のご支援を賜りますよう何とぞよろしくお願い申し上げます。

終わりとりましたが、今年はとくに異常気象のつくところ、健康に気をつけられ益々のご多幸を祈念申し上げます。

平成19年度 自治会役員

自治会長	藤野喜代蔵
副自治会長	薩摩四郎
会計部長	清水 豊
文教部長	成宮克豊
福祉部長	辻野久和
環境部長	矢守貫一
体育部長	松村庄之丞
改良組合長	藤野隆司
副改良組合長	宮川喜弘
水利防除部長	元持正行
町 顧問	森田喜久雄

祝 中学へ進学おめでとう

中学校生活では、新しいお友達も増えて今までと異なった
しっかりとした自分づくりの時間です。
そして将来の夢もたぐり寄せましょう。

- | | |
|---------|--------------------------|
| 青木祐介さん | 将来の夢は自分で会社を経営する |
| 薩摩和宏さん | 将来の夢は社長さんになること |
| 鹿島沙織さん | 将来の夢は明るく優しい美容師になること |
| 森野友梨さん | 将来の夢はデスクジョッキーになって活躍したいです |
| 薩摩ゆみかさん | 将来の夢は保育士になりたい |

(将来の夢は稲枝小学校広報「稲穂」より)

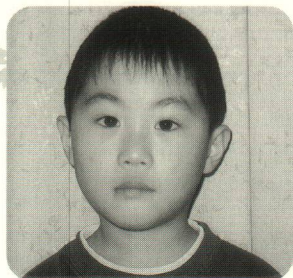
皆さんの元気いっぱいの
成長を祈っています。



平成19年度

ピカピカの1年生

「大きくなったら私の夢は」
「私の大好きなものは」



松村 恵大(けいだい)さん
お父さん…松村庄之丞

大きくなったら、私の夢は、サッカー選手になりたいです。
私の大好きなことは、すべてサッカーです。



筒井 京紀(あつき)さん
お父さん…筒井隆智

大きくなったらピアノの先生になりたいです。
がんばって上手にひけるように、いっぱい練習します。
私の好きなことは、なわとびとピアノといちりんしゃです。



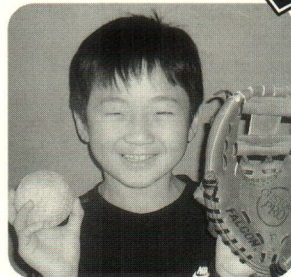
藤野 桃果(ももか)さん
お父さん…藤野人美

大きくなったら、バレーボールの選手になりたいです。
いま、わたしの好きなことは、絵をかくことです。いちりんしゃにものれるように、練習をしています。



鵜野 心歌(もとか)さん
お父さん…鵜野隆清

大きくなったら、バレリーナになりたいです。
今、私の大好きなことは、みんなとなかよくあそぶことです。



鵜野 颯(はやて)さん
お父さん…鵜野真明

僕の夢は、プロ野球の選手になってピッチャーをやりたいです。
大好きなことは、仲の良い友達と、いろいろな遊びをすること、お父さんとキャッチボールをすることです。



肥田町歴史文化の原点を再発見 肥田城遺跡調査の説明会開催

この度、肥田城遺跡調査の第一期段階を終えて、3月17日に肥田町公民館ほぼ満席の町民の方々の参加を得て説明会が開催されました。採取されました遺物、土器、陶器、石斧、焼石などの展示と、スライドによる現場の豊富な解説もいただき、私どもは新しい歴史の扉が開かれた思いで感動の連続でした。

文化財保護協会の皆様のご努力に感謝申し上げます。

調査主体 滋賀県教育委員会

調査機関 財団法人滋賀県文化財保護協会



（財）滋賀県文化財保護協会では、県営経営体育成基盤整備事業（ほ場整備事業）に伴い肥田城遺跡の発掘調査を行いました。平成18年5月から開始した試掘調査によって、集落東側に遺跡の広がり確認されたことから、同年6月中旬から12月上旬にかけて発掘調査を行ったところ、

「北墓立」を中心に広がる遺跡の様子が明らかになりました。また、この後1月から2月にかけて行った集落南西部の試掘調査でも、一部について遺跡の広がりが確認されました。

遺跡は全部で7つの時期で構成されます。「肥田城」関係と、それに先行する奈良時代から鎌倉時代を中心とするもので、①8世紀後半（奈良～平安時代）の建物跡、②9世紀前半（平安時代）の建物跡、③9世紀後半（平安時代）の建物と道路跡、④11世紀（平安時代）の大型畦畔、⑤12世紀前半（平安時代）の道路と建物跡、⑥12世紀後半（鎌倉時代）の水田小区画、⑦肥田城関係があります。また、須恵器、土師器、灰釉陶器、黒色土器と呼ばれる焼き物の椀などがみつかりました。

宇曽川流域の歴史をみると、西暦8世紀（奈良時代）に、ここより約2キロメートルの地点に「東山道」が整備されます。それと時期を同じくして、この地に管理者ともいえる建物が建てられました。建物1は延べ床面積約6坪（約20㎡）の規模を持ち、主屋と考えられます。建物は何度も建て

替えられ、やがては建物6（約24坪・約80㎡）の大型なものになります。さらに、屋敷に続く幅8メートルの道路も整備されます。この道路の横には倉と考えられる建物も並んでいます。

その後、この地域では、水田開発が始められ、最初のもは地域に限定したものでしたが、やがて、愛知郡・犬上郡全域に広がる統一性のある大きな区画整備がなされます。この地は水田として利用されておらず、土地管理者の屋敷区割が見つかりました。こういった立地の良い場所であったからこそ、西暦16世紀、高野瀬氏によって、肥田城が建てられたと推測されます。

肥田城の時代のものは、水攻め堤の痕跡とされてきた箇所とその周辺で見つかりました。現存する堤跡の下に堤基礎と、その内側に大きく土取りをした痕跡が認められ、堤をつくるために、すぐ横の土を取って水攻めの堤がつくられたことが明らかになりました。

なお、地元の皆様には調査期間中、何かとお世話になり、ありがとうございました。今後とも文化財調査へのご協力とご理解をよろしくお願いいたします。



解説は 滋賀県文化財保護協会 吉田秀則 北村圭弘 中川治美

祝 彦根城築城400年祭記念

「彦根かるた」をみんなで楽しもう

彦根かるたを通して、大人も子どもたちと一緒に、子どもたちの「心のふるさと」を豊かなものに、これからも歴史と伝統を活かし、文化の薫り高い彦根の町の発展に努めていきましょう。この記念すべきときに改めて彦根かるたを開いてみました。

【彦根かるた】

いろは松 土佐産湯を あびてくる
ろう下橋 戦になれば 落とし橋
春の城 梅と桜の 香ににおう
西に湖 東に鈴鹿の 金亀城
法界防 江戸の思いを 鐘によせ
塀や門 むかしをしのぶ 武家屋敷
通りゆく 芹川堤に けやきの木
ちょうなめが 古さを語る 太鼓門
りりしさを きたえ育てた 弘道館
ぬれぎぬに うらみは深し 皿の数
留守居役 桜田門の しらせ聞く
おうみの海 磯うつ波の幾度か 御代に心をくださぬるかな
渡りきし 文化の足場 荒神山

笠塚に 芭蕉をしのぶ 明照寺
夜明け前 鐘鳴りひびく 時報鐘
高宮布 背おって渡る 無賃橋
歴代の 藩主に直の 字を伝え
そのむかし 群家があった 河瀬の地
着見台 着見と月見の 見張り橋
年一ど 市民がくり出す 城まつり
中仙道 宿場は 高宮 鳥居本
羅漢佛 おもかげしのぶ 天寧寺
むかしより 仏壇、バルブの 地場産業
埋もれ木の舎に 偉人の あとしのぶ
井伊大老 鎖国のかべを 打ち破る
野田山に 舟の神あり 金毘羅宮



往来に 巡礼行きかう 彦根寺
黒門と 赤門のこす 宗安寺
弥生式 文化遺跡の 西今町
松原の 内湖にかかる 百間の橋
玄宮園 近江八景の 縮図なり
普光寺 礎石をのこす 広浜の宮
ごぼう積み 天守を支えて 四百年
絵姿に 四季の花咲く 彦根屏風
伝説に のこる 稲葉の白うさぎ
赤備え 直政武勇の 関ヶ原
佐和山城 五層の天守と 人はいう
鬼門よけ お城を守る 弁財天
雪しげき 佐和口多聞の 美しさ
めずらしい 出山釈迦あり 多景の島
水攻めの 歴史にのこる 肥田城址
城内に のこる馬屋の こけらぶき
えびす講 にぎわう街に 小雪舞う
秀吉の 城から移した 天秤櫓
もり上がる 大藪おどりは ヨイトコセイ
製糸所の 歴史を語る 平田川
摺針の 茶屋と大杉 望湖堂
彦根に学び 彦根に育つ

ふるさと研究友の会
（彦根青少年ふさと研究友の会育成会）